

報道関係各位

2020年5月1日

LIXIL、米Atlas社にPermasteelisaの事業を譲渡

- **Atlas社は、Permasteelisaの再生計画を推進し、収益性の向上と自律的な成長を実現する理想的な譲渡先**
- **LIXILは基幹事業である水まわりと建材事業へのさらなる注力が可能に**

株式会社 LIXIL グループ（以下 LIXIL グループ）は、当社の完全子会社である株式会社 LIXIL が保有する Permasteelisa S.p.A（以下 Permasteelisa）の全株式を、米国の Atlas Holdings LLC（以下 Atlas）社に譲渡することを本日決定しました。譲渡先となる Atlas 社は、製造、物流、建設分野をはじめ、様々な企業を多角的に運営し、安全性向上や業務改善といった事業支援において独自の知見とノウハウを有しています。この株式譲渡は、関係当局からの承認等を条件として完了する見込みで、本取引に関する条件等の詳細は開示しておりません。

Permasteelisa は、グローバルな建築プロジェクトのエンジニアリング、プロジェクト管理、製造、施工とアフターサービスを手がけ、建築物の内外装分野における世界トップクラスの企業です。イタリアのヴィットリオヴェネトに本拠を置き、ロンドンのザ・シャード、カリフォルニア州クパチーノにあるアップル新本社社屋、ニューヨークのワールドトレードセンター（WTC）跡地に建設された1WTC、3WTC および 7WTC、上海ワールドフィナンシャルセンター、香港の世界貿易センターなど、世界に名だたる建築物を手がけた実績があります。国際的に活躍する建築家と連携しながら、これまでに 3,500 超にのぼる建築プロジェクトに参画してきました。

LIXIL グループ 社長兼 CEO 瀬戸欣哉は次のようにコメントしています。「カーテンウォールの分野で高い専門性を持ち、世界的ブランドとして知られる Permasteelisa が、グローバルな事業会社を傘下に持つ Atlas 社の一員になることにつき、この度、合意に至りました。Atlas 社は、財務面や人的資源の面において長期的な事業支援を行ってきた実績を持ち、Permasteelisa にとって理想的なオーナーであり、大変喜ばしく思います。一方、LIXIL グループは、本件を通じて、基幹事業以外の分野におけるリスクを低減し、これまで推進してきた変革の取り組みを次の段階へと進めることができます。水まわりおよび建材事業のさらなる強化と、成長性の高い分野への資源の投入を進めていきます」

LIXIL グループでは、組織の簡素化と基幹事業への注力により、組織の統合をさらに進め、シナジー創出と業務の効率化を目指す取り組みを継続的に推進してきましたが、この度の決定は、この戦略に沿ったものです。Permasteelisa の事業は、経営サイクル等の面で、当社の基幹事業と多くの違いがあります。このため、今回の株式譲渡を通じて、基幹事業とは異なるリスクを低減し、効率化が期待されます。加えて、キャッシュフローの改善と債務削減、運転資本効率の改善によって、バランスシートの改善と財務基盤の強化を図るとともに、基幹事業において収益性の高い成長分野にさらなる投資を行い、シナジー創出を図ることで、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいの実現を目指していきます。

Atlas 社の共同創業者兼マネージングパートナーの Timothy J. Fazio（ティモシー J.ファズィオ）氏は次のようにコメントしています。「Permasteelisa は、将来の自律的な成長が見込める強固な基盤を有していると考えており、この度、同社の株式取得に合意できたことを大変喜ばしく思います。また、同社は CEO である Klaus Lothar 氏が率いる優れた経営陣とスキルの高い人材を擁しています。建材および建設分野における知見、徹底した顧客満足の追求、イノベーションの推進、事業改善の実績など当社の強みを生かすことで、将来に向けて、より強い企業を構築していくことができると考えています」

Permasteelisa グループの CEO である Klaus Lothar (クラウス・ロザー) は次のようにコメントしています。「Permasteelisa は、設計、エンジニアリング、製造、プロジェクト管理などの能力を結集することでカーテンウォール業界におけるイノベーションを推進しています。また、一段と複雑化し競争が激化する環境の中で、LIXIL グループの強力なサポートの下で、様々な課題に対応してきました。LIXIL グループの継続的な支援に感謝しています。ここからは、当社は新たな成長のステージに移ります。Atlas 社とともに、建設セクターにおける価値創造に向けて、当社は進化を続けることができると確信しています」

なお、今回の株式譲渡の決定により、会計処理および表示の方法の詳細については、監査人と協議中ではありますが、国際財務報告基準 (IFRS) の規定に基づき、Permasteelisa は LIXIL グループの財務報告書において非継続事業として分類される予定です。なお、偶発債務 (主として契約履行保証に対する債務保証) は約 1,500 億円減少する見込みであり、これにより資金調達コスト等へのプラスの影響も見込まれます。本件およびその他の要因を背景に、LIXIL グループは本日、通期業績予想の修正を発表しました。詳細は、適時開示資料「業績予想の修正 (連結)、および国内子会社での特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 LIXIL グループ (<http://www.lixil.com/jp>)

本社：東京都江東区大島 2-1-1

広報 高田・塚 TEL : 03-6706-7020 / MP : 080-4076-2510

※このリリースは、LIXIL グループホームページ (<http://www.lixil.com/jp>) でも発表しています。

■ LIXIL について

LIXIL は、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEM をはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約 75,000 人の従業員を擁し、世界 150 カ国以上で事業を展開する LIXIL は、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で 10 億人以上の人びとの暮らしを支えています。LIXIL などのブランドを展開する、株式会社 LIXIL グループ (証券コード: 5938) は、2019 年 3 月期に 1 兆 8,326 億円の連結売上高を計上しています。

LIXIL について：www.lixil.com/jp、<https://www.facebook.com/lixilcorporation/>